



ほほ季刊 ふくらばぎ通信

第十号（令和七年睦月）発行：ニルヴァーナ：茨城県ひたちなか市堀口162-1

あけましておめでとうございます
今年も何かとよろしくお願ひ致します。佐藤です。

う～ん大変ご無沙汰しております…毎回云っていますね。こんな筈ではなかったのですが、概ね前号より1年半。年賀状と新年のご挨拶とご了解をお願い致します。今回で10号！話したいことはいろいろあるんです。来るべき「大尊時代」大相撲の若手の元気印やら、昨年ボクのガラスのハートが悲鳴を上げまして、初めて救急車に乗ったり、体重二十キロ以上落としたら皺で老け込んだとか(^^;)

一方、地域活性化の三鉄ものがたりが意外と快調で来年で10年…とかなんとか。

あ、久しぶりなので佐藤って誰だっけ？忘却された御仁におかれましては、改めまして記憶の片隅に置いて頂けましたらと(^^ゞ



いて出し抜けに襲ってきたんですよ、断りもなく。胸全体が痺れたような、焼けたヤスリで締め上げられるような苦しい激痛。目が覚めると云うより、脂汗が止まらず、慌てて飛び起き、いやいやこれはウソ。飛び起きられず、ホウホウの態で起床。やおらネットでこれを調べると狭心症かなど。数分で発作は止むとのこと。しかし、10分ぐらい我慢すると椅子にも座ってられず、誤魔化せないと家内を起こす。家内も慌てて110番だっけとボタンが押せない。そこを呼ばれると余罪がバレルなどと思いながら初めての救急車。松の内の夜中だと云うのに運良くシラフの循環器医が揃った病院へ担ぎ込まれた、と思ったら、そこからが長い。イタ苦しくてのたうち回っている身としては、なんでもイイからさっさと何とかしてくれと願うも、脇に来て「あ～、苦しいよね～痛いよね～」などと意味不明な

■まさに青天の霹靂

ちょうど1年前ですね。正月松の内7日の「真夜中」だったので真夜中の霹靂。なんこと良いんですが、それにしても魂消ます。寝て

*この「ふくらはぎ通信（第2の心臓）」は、お勝手口からご挨拶、ご機嫌伺いでございます。ご承知かと思いますが、「ふくらはぎ」の筋肉は下半身の血液を上半身に循環させる役割を果たしています。そこで、第2の心臓と呼ばれています。つまり、私共は皆さまの「健康なふくらはぎ」たらんと願い命名致しました。

口添え。止して欲しい。ようやく担当医らしきが表れると、紙切れ見ながら「～～数値ダメ」を連呼。「そんなにダメなの？」聞いて見るとやたら力強く「ダメ！あ～～心筋梗塞だ！」と若い女医。いやいや、それは素人でも分かるからとツッコミたくなる。そうこうして目が覚めたのが4日後の夕方。説明を受けると冠動脈の一番太い根本が詰まったとのこと。我ながら派手にやったものです。エンジンは2／3に。ま、話は変わりますが、いろいろ思うところもありまして、卒業に関してはドライと云いますか、若い頃から執着心は薄いような気がしていたものの、加速しましたね。今回は業が深すぎて、修業し直せとのお達しかなと。三途の川とやらも見てないし、3年前に他界したオヤジが出てくるわけでもないし、ネタとしては薄いものの、結果良い薬になったような気がします。お神酒好きなんて胃腸系消化器系は覚悟してましたが、よもやの心臓。ま、生きているといろんなことがありますね(^^ゞ

■東の鮫鱈、西の河豚

話題は一転、冬の楽しみと行きましょうか。なにやら千葉では、トラフグが取れ過ぎて下関に卸しているとか。さて、言わずと知れた我が常陸の誇る冬の味覚「鮫鱈」江戸では好まれていたようですが、茨城の冬の味覚となったのは昭和以降とか。県央の水戸、大洗、那珂湊も鮫鱈の名所ではありますが、地元でそうそう口にするかと云えば、ボクの周りですとあまり聞かないような。これが北茨城に行きますとかなりお手ごろ！だけではなく皆さまご承知「ドブ汁」なる至高の鍋にもあります。水を使わずに僅かな野菜と大振りの鮫鱈の身、そして

つ道具を肝と味噌を和えたそれで煮込む。コクがありすぎてゴトゴト、グツグツの音が違うんです！そして平潟港周辺の民宿さんでは、目の前の浜で上がった魚も振る舞ってくれまして、それはもう幸せ指数が急上昇。ある時は、大きなヒラメの煮物だったり、宮城で食べたらこれだけで2000円～だよなと云うキンキの煮付、ある時は朝っぱらから「でかいメバルだな～、でも様子がショット…」「大将！これって…」なんと新潟で食べたら2500円からかな～というアカムツ（ノドグロ）がお出し。え、これって勘定に入っているんですか？などと恐る恐る伺うと「入ってるよ、どうせ浜値つかないから」などと。本当はお教えしたくないほどですが、最近テレビの取材が相次ぎ予約困難だったり。更には温泉もあるんですよ！塩泉で無色無臭とあるんですが、どういう訳か鳴子のようなほのかな油臭のするところもあります、それはそれで一興。

水戸界隈ではショットお高く、なかなか手が出ないアンコウですが、ショッピリ足を伸ばしますと四季折々の地魚、温泉に地酒が楽しめたり。ご検討されては♪

三鉄では恒例の春の遠足でも行っていますので、ご一緒にいかがでしょうか(^^ゞ

■後記 正月早々、変な話題で済みません。でも、こういうこともあるもんだと思って頂けました(^^-^)

今年は「三鉄ものがたり」10周年。一昨年、国交省から表彰、県知事賞も頂き、昨年もいろいろ企画実行して参りましたが、今年も楽しい企画ご用意致します。

本年も楽しくよろしくお願い致します♪

- 新事業の企画検討
- 新規事業を始める際の販促策／集客／名簿獲得法など
- オーシャンのアナログで攻める
- 会報でお得意様へ
- ネット販売
- 成長する事業計画作成など、あなたの会社の2番番頭／営業部としてご活用下さい♪
- 夢のマスコミ活用
- ブルー

nirvana 「あなたの会社の明るく使い勝手の良い式番番頭」

・集客・販促企画・WEB・DMなど作成支援
・各種企画・運営／地域元氣化・イベントなど
佐藤 久彰 経営士（日本経営士会）
電話：090-8497-3354

・中小企業庁・茨城県よろず支援拠点コーディネーター
いばらき中小企業グローバル推進機構・派遣専門家
いばらきエキスパート・バンク登録専門家
茨城県商工会連合会・派遣エキスパート